



—北アフリカ地域ニュース—

エジプト：アブルゲイト外相及びソリマン GIS 長官の訪米 (5月23-25日付現地各紙)

23日-25日付エジプト各紙はアブルゲイト外相及びソリマン国家情報庁 (GIS) 長官の訪米、オバマ米大統領のエジプト訪問について報じている。概要は以下の通り。

1. アブルゲイト外相及びソリマン GIS 長官の訪米

- (1) エジプト政府筋によれば、アブルゲイト外相及びソリマン GIS 長官は、ワシントンに向け25日にカイロを出発し、26日に米当局者との会談を行う。
- (2) 政府筋によれば、今回の訪問の目的は、アラブ・イスラエル紛争の解決に関するエジプトの見方をオバマ米大統領のエジプト訪問前にオバマ政権に伝えるとともに、ムバーラク大統領の訪米延期（孫のモハメッド・アラー・ムバーラク氏の死去による）は、オバマ政権にエジプトの立場を伝える意思がないことを意味しない点を説明する事である。
- (3) 政府筋はアブルゲイト外相とソリマン GIS 長官のワシントン訪問は、ムバーラク大統領の訪米を代替するものではないと述べた。

2. オバマ米大統領のエジプト訪問

- (1) オバマ大統領の6月4日のエジプト訪問予定を前に、米国先遣隊が22日カイロに到着した。
- (2) ギブス・ホワイトハウス報道官は、オバマ大統領は6月4日にムバーラク大統領との首脳会談を行い、中東和平プロセス及びパレスチナ国家の樹立に関する米国の立場がメイン・トピックになると述べた。
- (3) ギブス報道官は、オバマ大統領がエジプト訪問の機会に行うスピーチは、世界中のムスリムと米国との関係について述べ、また新たな包括的和平プランの詳細について述べる見込みであると述べた。ギブス報道官は、この種のスピーチを中東和平プロセスに言及せずに行う事は困難であり、中東和平問題はオバマ大統領のスピーチのメインテーマとなるであろうと述べた。

3. 24日午前の閣議においてムバーラク大統領は、アブルゲイト外相、ソリマン国家情報庁 (GIS) 長官、ラシード通商産業・国内通商相を米国に派遣する事を決定した。この訪問団は25日カイロを出発し、訪米中はパレスチナ問題等の中東問題についてクリントン国務長官他、米政府関係者と協議を行う予定である。

4. アブルゲイト外相発言

- (1) 訪米中は、クリントン国務長官他、時間が許せばオバマ大統領とも会談を行う予定である。
- (2) 米国の中東和平解決へのビジョン及びパレスチナ・イスラエル間交渉の方法等について依然検討が行われていると承知している。

5. ラシード通商産業・国内通商相発言

エジプトは、米国との経済・投資関係の強化を重視している。訪問中は米通商代表との会談が予定されており、経済関係強化のための共同声明が発出される予定である。

6. アルマスリ・アリヨウム紙（エジプト独立系日刊紙）は、オバマ大統領エジプト訪問時の詳細スケジュールについて以下の通り報じている。

6月4日（木）	10：00	カイロ着 アブディーン宮殿にて歓迎レセプション
	11：00	ムバーラク大統領とオバマ米大統領の会談（約45分間）
	12：45	カイロ大学にて演説（約1時間） 在カイロ米国大使館訪問
	18：00	カイロ発